

# 「サンプルに関するホームユーステスト」 自主調査レポート

<ダイジェスト版>



Copyright © MACROMILL, INC. All Rights Reserved.

リアルの調査環境については、各社様とも似たようなお悩みをお持ちです。



- 1.街頭調査は、質問数・拘束時間の制約により精度に限界がある
- 2.対象者の偏りが調査会場に依存する
- 3.過去調査経験者排除が困難
- 4.“謝礼目当ての常連さんネットワーク”が存在する
- 5.試飲試食を行う環境としては不自然
- 6.直前に対象者が何を飲食していたか不明
- 7.協力率の低下、リクルート場所の制限による調査環境の悪化
- 8.そもそもターゲット属性の対象者に会えない

# インターネット調査によるホームユーステスト<Sample Mill>のメリット

1)コンセプト段階から上市前製品評価まで、一気通貫でモニタに対して調査。

2)調査会場に縛られず、調査対象エリアが偏らない。

3)従来調査に対して同等な価格でありながら、よりよい調査環境をご提供。

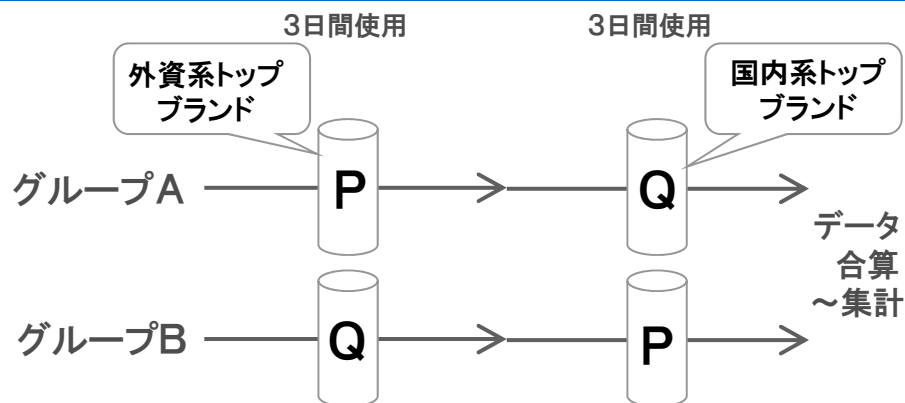
4)モニタID管理によって、フレッシュサンプルを確保。

	代表性	調査環境としての自然さ	複雑な対象条件	セキュリティ	スピード	コントロール	コストパフォーマンス	プローブ	サンプル回収率	臨場感
CLT	×	×	×	?	○	○	○	○	○	○
HUT	○	○	△	△	×	△	×	△	△	×
Sample Mill	○	○	○	△	○	△	○	×	△	×

## 自主調査の調査概要

- 調査目的: ブラインドさせた2種類の市販シャンプーとリンス(PとQ)を一定期間テスト使用し、評価を行う(シーケンシャルモナディック法を使用)
- 調査エリア: 首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)
- 対象者条件: ストレートロングヘアの20~39歳の女性  
シャンプー、リンスP・Qを過去1年間未使用
- サンプル回収: 計130ss(回収率92%)  
【内訳】 <グループA> 20代:32ss、30代:32ss  
<グループB> 20代:34ss、30代:32ss
- 実施期間: 2006年2月4日~2月14日
- 実施機関: 株式会社マクロミル

## 調査フロー



- ・各シャンプー、リンスは透明の容器に入れ替えて郵送
- ・P、Qは各3日ずつ連続して使用
- ・1日1回、夜のみ使用。ウォッシュアウト期間(使用しない期間)は設けず
- ・記入シートを同封し、毎回のシャンプー使用後に、使用感などをメモ
- ・6日目の使用後に、WEB画面にまとめて記入してもらい、データ集計



# 重視している機能・効能と各シャンプーの使用感

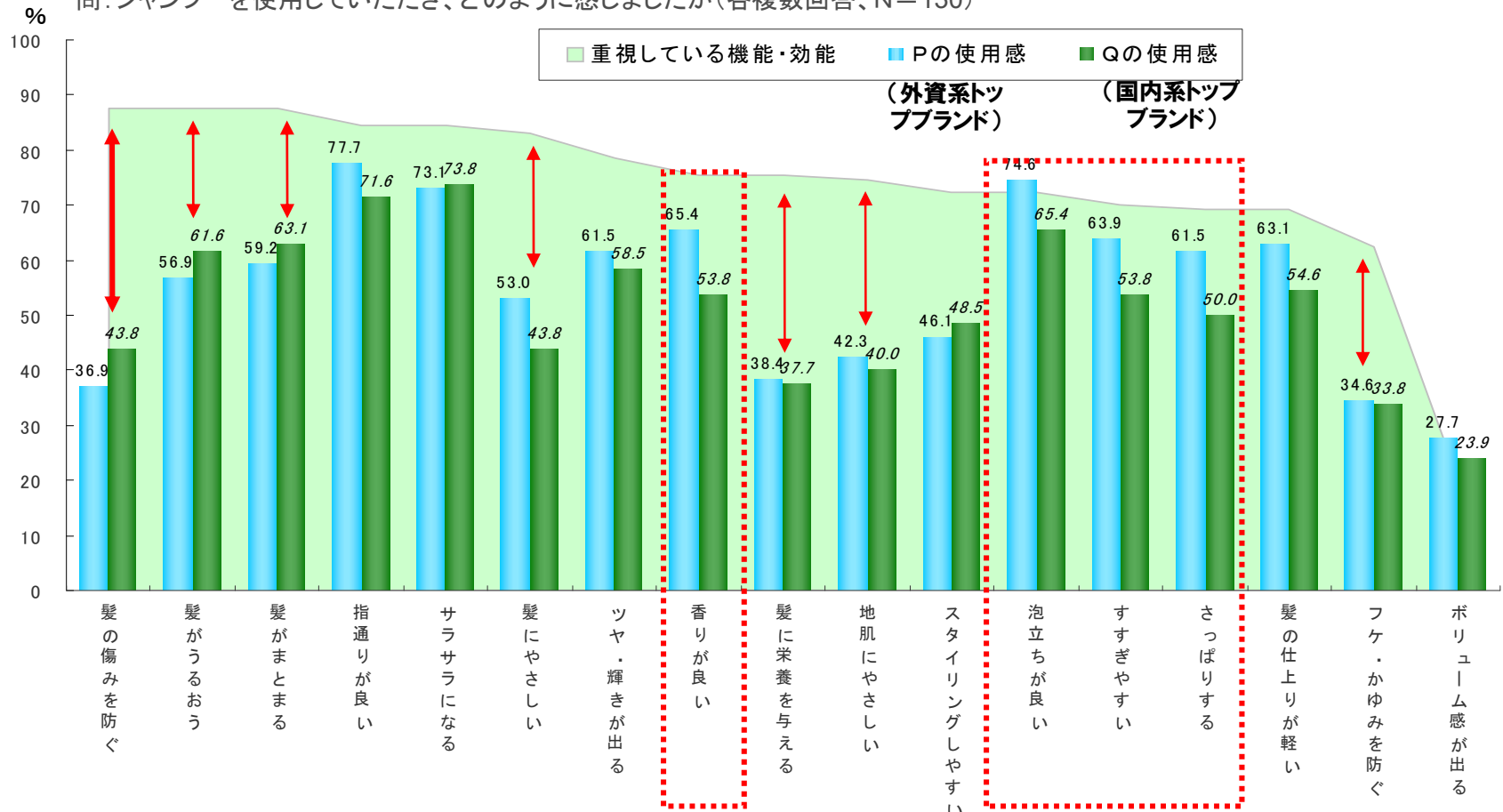
●P、Qは満足項目・改善項目共に大差がなかったが、使用感には以下の差が見られた。

- ・Pの強み: 「指通りの良さ」「髪にやさしい」「香りの良さ」「泡立ちの良さ」「すすぎやすさ」「さっぱり感」「仕上がりの軽さ」
- ・Qの強み: 「髪の傷みを防ぐ」「髪がうるおう」「髪がまとまる」

**しかし、生活者が最も重視している「髪の傷みを防ぐ」と、P、Qの使用感には大きなギャップが見られる。**

⇒ 今後は、“ダメージケア商品”へのニーズが高まる可能性が窺える。

問: シャンプーを使用していただき、どのように感じましたか(各複数回答、N=130)



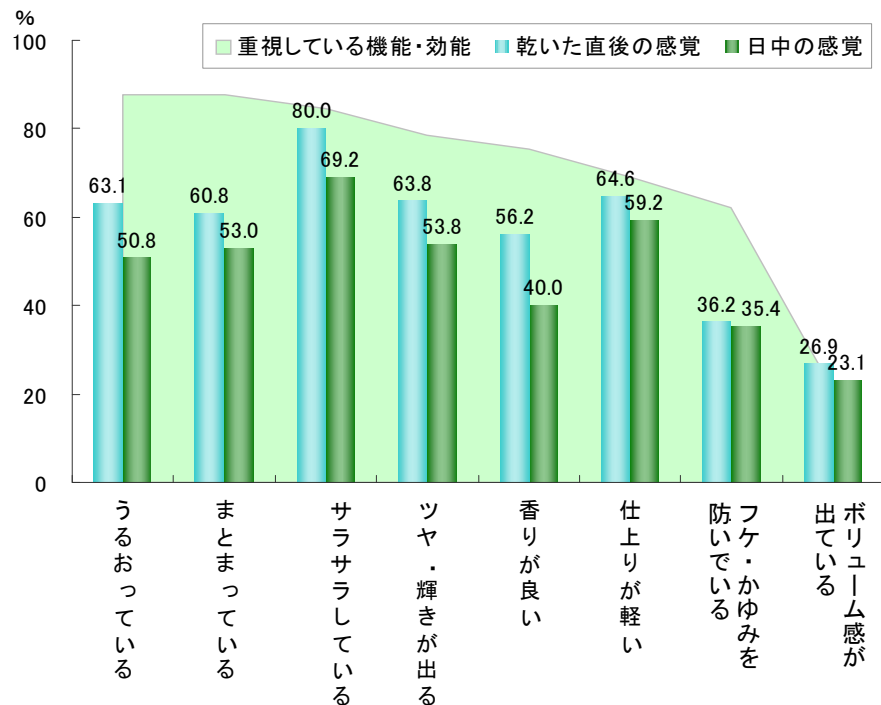
# 各シャンプーの機能・効能持続性変化

- 乾いた直後と日中の感覚を比較したところ、シャンプーPよりQの方が低下率が低く、特に「サラサラ感」の持続性が高い。

問:乾いた直後と、日中の髪の状態をお知らせください (各複数回答、N=130)

外資系トップ  
ブランド

<シャンプーP>

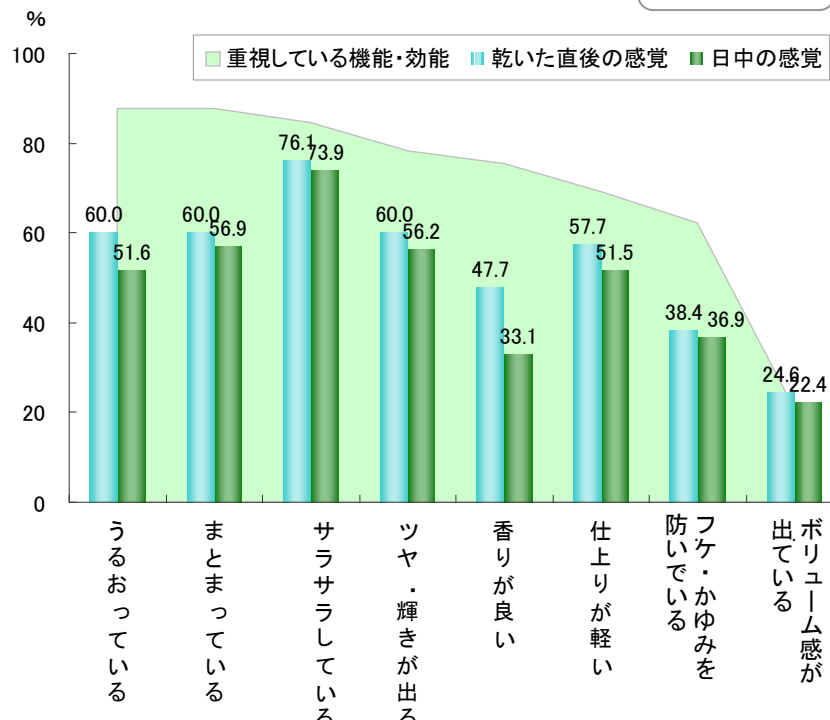


低下率

19.5 12.8 13.5 15.7 28.8 8.4 2.2 14.1

<シャンプーQ>

国内系トップ  
ブランド



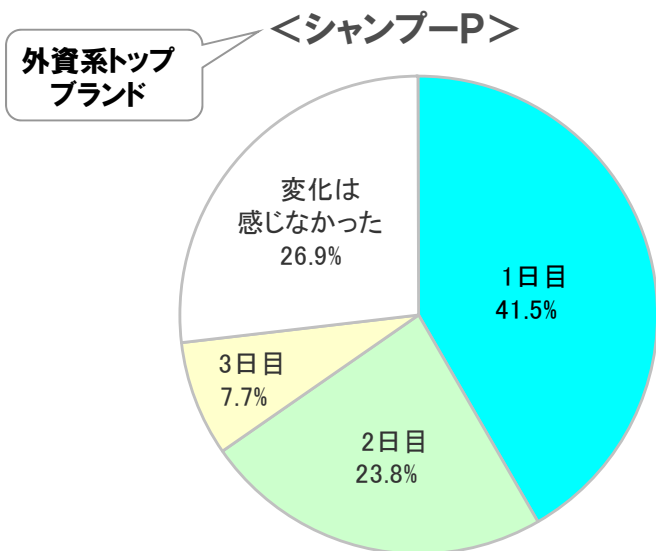
低下率

14.0 5.2 2.9 6.3 30.6 10.7 3.9 8.9

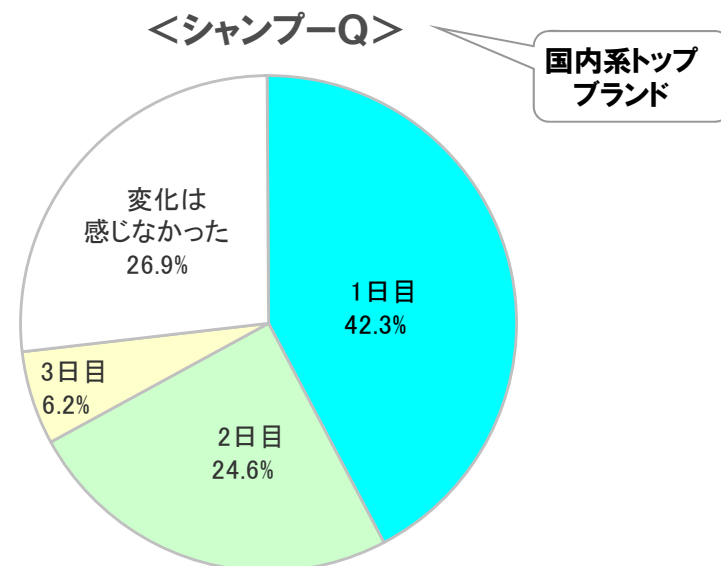
# 各シャンプーの使用変化

- シャンプーP、Q共に、3日以内に7割が変化を感じた。今まで使用していない“新鮮さ”を感じたためと窺がえる。

問: 使用して、何日目に変化を感じましたか (各単数回答、N=130)



⇒3日以内に変化を感じた計: 73. 1%



⇒3日以内に変化を感じた計: 73. 1%

## <シャンプーPを使った感想> (自由回答)

- 使用開始3日目からしっとり感が増しました。ツヤも出て、毛先が広がらなくなったので、本当に驚きました。まるでヘアサロンで使われている物のような仕上がります。(21才)
- シャンプーを一回変えたただけだと翌日は髪の状態が良くなっても二日目にまた前のようにざらつくことが多いので心配でした。けどこのシャンプーは3日間使ってとてもいい髪の状態になった。匂いもいいと思う。(34才)
- 泡立ちが良すぎて逆に不安になった。(以前美容院で、泡立ちが良い=汚れを落とす力が強い=カラーなどが落ちやすいと聞いたので) (21才)

## <シャンプーQを使った感想> (自由回答)

- とにかく初日からびっくりした！美容院帰りでもこんなに髪がフワフワ軽くは感じない。出来るものなら商品名教えてもらってお店に買いに走りたい気分です！(38才)
- 翌朝も、サラサラした状態が続いていたので、その効果に驚きました。ただ、サラサラ感が強くて、まとめ髪が作りやすく、いつもよりジェルを多く使う事になりました。(34才)
- サラサラでツヤが出たのが嬉しい。但し、においが苦手。強すぎる。(28才)



# 好感度

- シャンプーQより、Pの方が好感度が高い。Pの「サラサラ感」「ツヤツヤ感」「香り」が支持されている様子が窺える。
- シャンプーQの「香り」は好みが分かれたが、「乾燥後の軽さ」が支持。

問:PとQを使用して、どちらが好きですか(単数回答、N=130)

## <Pが好きな理由>

P計:58.5%

Q計:41.5%

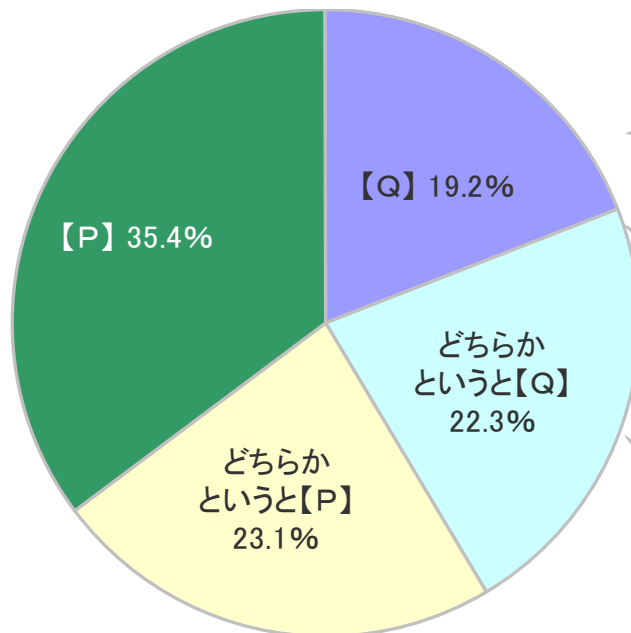
## <Qが好きな理由>

Pのサラサラ感と、洗っているときの指どおりの良さ。香りも気にならなかったから。Qは、香りが苦手だから。(39才)

ツヤツヤ感が他に無い感じ!! 本当にしっとりして、鏡で見た自分の髪にビックリしたほど…。(21才)

家族で使うことを考えると、Pの香りの方がいい。家族が女性だけならいいが、男女兼用だとQの香りは女性っぽすぎるので。日中の髪の毛もPの方が落ち着いているような気がした。(37才)

洗った時の香りと乾かした時の髪ざわりがPの方が断然よかった。(26才)



圧倒的にQの方が泡立ちがきめ細かく洗っていて気持ち良い。ドライヤー乾燥後の髪の軽さは特別で比べ物にはならないと感じた。(38才)

Pは髪がすごくもつれたから。香りもきつなくていいが、少し物足りない様に感じる。(24才)

Pは髪がきしむのが気になった。私はロングヘアなので、きしんでしまうと切れてしまったり痛むのではないかと気になる。Qは洗いあがりのしっとり感はとても髪に良いと感じた。(34才)

洗っている時はPの方が「なんか良さそう」と思ったが、Qは乾かした後の香りと軽さ、何よりツヤが出たのでとても気分が良かった。(36才)

**MACROMILL**   
Innovation or Nothing

---

お問い合わせは  **0120-096-371** [support@macromill.com](mailto:support@macromill.com)  
フリーコール 別添